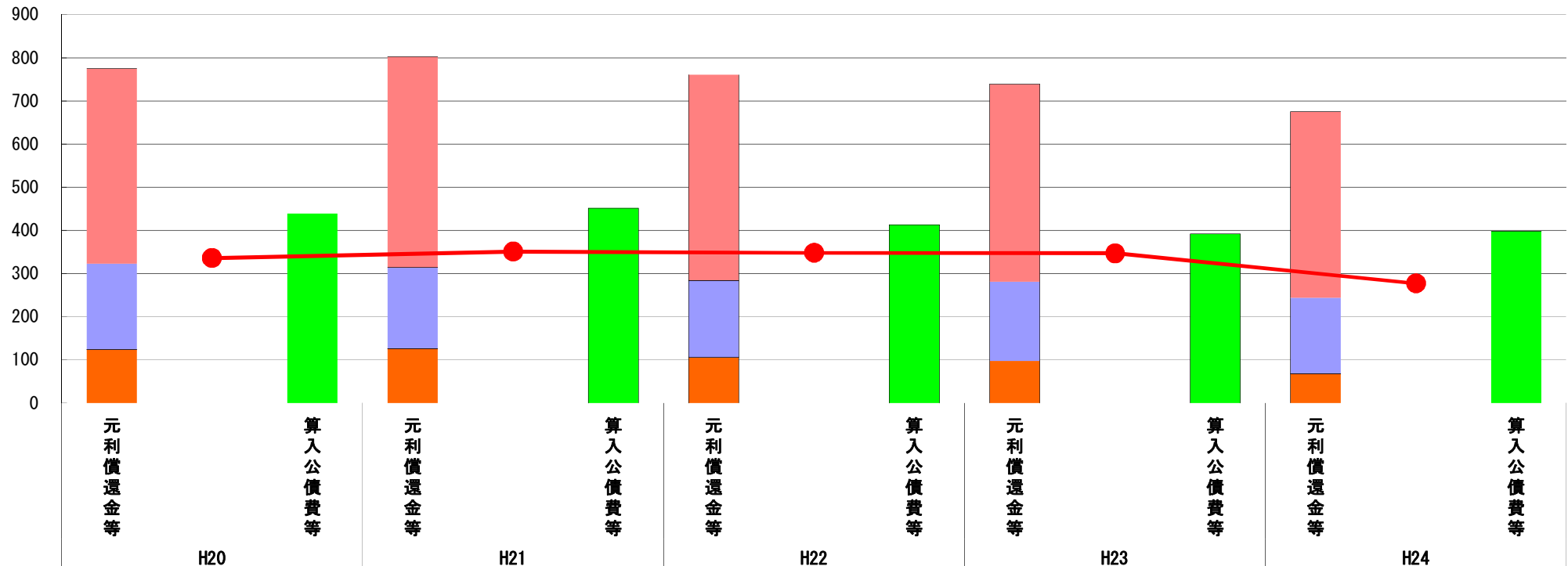


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

宮城県大郷町

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		452	488	477	458	431
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		199	188	178	183	176
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		124	126	106	98	68
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	0	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		439	451	413	392	398
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		336	351	348	347	277

分析欄

実質公債費比率は平成20年度の14.1%から僅ずつではあるが減少し24年度は12.3%となっている。
 元利償還金等の推移を見ると、年々数値は減少していることから、新規地方債発行抑制の効果が表れてきている。
 しかしながら今後は、災害復旧関係の地方債等の償還に伴う率の上昇が見込まれることから、将来の数値を悪化させることのないよう、健全化の維持に努める必要がある。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。